

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	英語スピーチ・プレゼンテーション				
担当者氏名	アレックス M. 林				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	3年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力					

《授業の概要》

この科目では、まず基本となる英語のスピーチの指導から始め、実践する。さらにプレゼンテーションに向けて、資料作成から、プレゼンテーションのための基本的なスキルを身につけ、実践できるようになることを目指す。

《テキスト》

各回、必要に応じて資料を配布する。

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業の到達目標》

グローバル化が進むなかで、世界の共通言語である英語を用いての発表と、正しい英語の発話の重要性が高まっている。人前で情報を伝えたり、自分の考えを説明したりするプレゼンテーション能力も不可欠である。自分の考えを効果的にかつ、積極的に英語で表現するスキルを身につけ、さらに聞き手として、他人のスピーチも理解し、質疑応答、議論など積極的に英語でできるようになることを目指す。

《授業時間外学習》

《成績評価の方法》

平常点、クラスでのプレゼンテーション60% 試験40%

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	授業に関する紹介	授業ガイダンス。進め方と評価の仕方など説明。
2	スピーチの基礎	構成、姿勢、アイコンタクトについて学ぶ。簡単な英語スピーチを実践。
3	スピーチの構成	英語スピーチの構成についての基本、基本的な英語表現を学ぶ。
4	スピーチの構成の実践	英語スピーチの構成、基本的な英語表現に加え、ジェスチャーを学ぶ。
5	ノンバーバルのスピーチとは	ジェスチャーの重要性を確認する。発話とジェスチャーを加えて、録画にて確認する。
6	スピーチの音声（1）	オクターブについて学ぶ。スピーチのキーワードを強調する。音声録音に吹き込み確認する
7	スピーチの音声（2）	オクターブ（声の抑揚）の重要性を確認する。
8	プレゼンの基礎	パワーポイントでプレゼンテーションの資料作成の基礎。
9	プレゼンの実践（1）	プレゼンテーションの資料作り、原稿を作っていく。トピックは全員共通のものが与えられる。
10	プレゼンの実践（2）	プレゼンテーションを準備する。互いにリハーサルをして発表の準備。
11	プレゼンの実践（3）	プレゼンテーションの実際。録画におさめ、自分で確認評価させる。
12	プレゼンの総括	プレゼンテーションの仕上げ。姿勢、アイコンタクト、声の抑揚などを含めた総合的練習。
13	プレゼンの評価	プレゼンテーションをクラスで実施する。他人のアドバイスを取り入れてプレゼンに備える。
14	プレゼンの仕上げ	完成されたプレゼンテーションを行う。
15	まとめ・テスト	授業内容の総まとめと試験